

# 広報家畜衛生

平成28年11月16日 発行  
 徳島家畜保健衛生所  
 〒770-0045 徳島市南庄町5丁目  
 TEL 088-631-8950 FAX 088-631-8938  
 阿南支所 〒774-0013 阿南市日開野町谷田  
 TEL 0884-22-0304 FAX 0884-22-2225

韓国において野鳥の糞便から高病原性鳥インフルエンザ(H5N6亜型)が確認されました。

10月28日、韓国の忠清南同天安市豊歳面にある鳳岡川で採取された野鳥の糞便からH5N6亜型の高病原性鳥インフルエンザが検出されました。

このことを踏まえ、日本国内では本格的な冬鳥の飛来シーズンを迎えることから、現在実施している野鳥サーベイランスにおいて、対応レベルが11月11日より「**対応レベル2**」に引き上げられました。

## ●対応レベルの実施内容

対応レベル	鳥類生息状況等調査	死亡野鳥等のHPAI検査			
		リスク種1	リスク種2	リスク種3	その他の種
対応レベル1	情報収集監視	1羽以上	3羽以上	10羽以上	10羽以上
<b>対応レベル2</b>	<b>監視強化</b>	<b>1羽以上</b>	<b>1羽以上</b>	<b>10羽以上</b>	<b>10羽以上</b>
対応レベル3	監視強化	1羽以上	1羽以上	5羽以上	10羽以上

「対応レベル2」では、リスク種1・2に該当する野鳥が1羽以上死亡している場合、高病原性鳥インフルエンザの検査を実施します。

同様にリスク種3及びその他の種に該当する野鳥では10羽以上死亡している場合、高病原性鳥インフルエンザの検査を実施します。

### ●リスク種1とは・・・

ヒシクイ、マガン、シジュウカラ、コブハクチョウ、コハクチョウ、オオハクチョウ、オシドリ、キンクロハジロ、オジロワシ、オオワシ、チュウヒ、ハイタカ、オオタカ、サシバ、ノスリ、クマタカ、チョウゲンボウ、ハヤブサ

### ●リスク種2とは・・・

マガモ、オナガガモ、トモエガモ、ホシハジロ、スズガモ、カイツブリ、カンムリカイツブリ、ハジロカイツブリ、マナヅル、タンチョウ、ナベヅル、バン、オオバン、ユリカモメ、コノハズク、ワシミズク

### ●リスク種3とは・・・

ヒドリガモ、カルガモ、コガモ、カワウ、ゴイサギ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、ウミネコ、セグロカモメ、トビ、コミミズク、コチュウゲンボウ等

### ●その他の種とは・・・

上記以外の鳥種すべて

本年10月以降、ハンガリー、ドイツ等の欧州及びインドにおいて、高病原性鳥インフルエンザ(H5N8亜型)の発生が継続的に確認されており、特にドイツ、オーストリア等では、多数の野鳥の死亡が報告されています(別紙)。

我が国への渡り鳥の飛来が本格化する時期を迎えた今、農場内へのウイルスの侵入を防ぐことが最重要です。

**危険です！！油断できない状況です！！**

日本国内でも死亡水鳥からA型鳥インフルエンザウイルスが確認されています。

## 1. 北海道標津郡中標津町で回収された死亡オオハクチョウ1羽

11月7日、北海道で回収されたオオハクチョウの死体よりA型鳥インフルエンザウイルスの遺伝子検査にて、陽性反応が出ました。現時点では、病性は未確定であり、高病原性鳥インフルエンザであるかは、不明です。

## 2. 秋田県秋田市の死亡コクチョウ1羽

11月15日、秋田市で飼育下のコクチョウ1羽の死亡を確認し、簡易検査を行ったところ、A型インフルエンザウイルスの陽性反応が出たとの報告がありました。現時点では、病性は未確定であり、高病原性鳥インフルエンザであるかは、不明です。



オオハクチョウ  
 公益財団法人日本野鳥の会ホームページより引用

1. 異常家きんの**早期発見**、**早期通報**にご留意ください。  
 鶏の日常の健康観察を徹底し、死亡率の急増等、鳥インフルエンザを疑う状況があれば、直ちに通報してください。
2. 野鳥や小動物の鶏舎等への**侵入防止**をお願いします。
3. 農場出入り口・周辺での**消毒を徹底**してください。
4. 農場に出入りする**人・車両の記録**をお願いします。
5. 当所からの広報など鳥インフルエンザ関係**情報の収集**に努めてください。
6. 韓国、中国など発生国への**不要不急の旅行は自粛**をお願いします。

**関係者全員が一致協力し、高病原性鳥インフルエンザの発生防止に努めましょう！**

<連絡先> 徳島家畜保健衛生所 088-631-8950  
 阿南支所 0884-22-0304  
 家畜保健衛生所は、休日・夜間も24時間対応しております。

